

連日の暑さにへきえきしています。

『熱中症警戒アラート「危険」のレベル。外での運動は中止しよう』の警報が出されています。家の中に風を取り入れても「熱風」が吹き込み、より一層暑さが増してきます。

暑い、本当に暑い毎日ですね。

金田地区の水田を散歩しました。田には十分な水が渡り、抜けてくる涼風が心地よく、ホットー息づくことが出来ます。

夕刻、親子三人で網と水桶をもち、側溝からドジョウやエビを捕獲、それぞれ五匹は獲るぞと、はりきりの姿に出会いました。

この時期の、金田地区は緑に恵まれた良い環境をつくり出してくれています。



太陽が西に沈む前。 水を貯え、初穂に備える水田地帯です。



大山と水田。夕映えに稲はしっかり生育しています。



水田の一角に「ひまわり」が一行。



昨日（8月1日）は、久方ぶりの激しい雷雨の午後でした。

まるでカミナリ雲の中に入り込んだような瞬時の「稲妻」と「雷鳴」が鳴り響きわたりました。加えて、流れ落ちるような降雨。たちまち、路面は川となっていました。幸い、短時間で過ぎ去り、降水による被害はありませんでした。

写真は8月2日 昨日の雷と降雨により空も水田も洗浄され、富士山も遠望されました。8月にしては珍しいことです。

暑い毎日、気象異変に地球が音を上げている結果かな？

世界の気温について、次のような新聞報道がありました。WMO（世界気象機関）の発表によると、「7月の世界の平均気温が、観測史上最も高くなることが確実になった」「7月23日までの世界の平均気温は、16.95度になり、これまでの記録で最も高かった2019年7月の16.63度を上回った」

南極、北極、両極の氷が融解し、そこに生息する生物の生存に問題を投げかけている。氷河の末端では、大規模な崩落が確認されている。大型の台風。広範囲に及ぶ森林火災など、気候の大変動は、人間の生活にも待たなしの影響をもたらします。今現在の状況がこれ。今後50年、百年後の環境の変動は何をもたらすのでしょうか？

それは、子、孫、ひ孫の時代です。

国連のグテーレス事務総長は国連本部で会見し「気候変動はここにある。恐ろしいことだ。そして始まりに過ぎない。地球温暖化の時代は終わり、**地球沸騰の時代**が来た」と指摘し、各国は言い訳をやめて、具体的な行動をとるよう求めた。

私たちにも、身近な環境保全の行動が求められています。

緑に満ちた、金田の水田地帯がいつまでも保持されるように。子供たちの遊びの場にもなり続けるように・・・